

# 大震災・復興ニュース（第2報）

平成23年4月27日  
仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

第1次補正予算案について（担当：水産業振興課，水産業基盤整備課他）

第1次補正予算案については，22日に閣議決定されている。今後，28日に国会に提出され，早ければ5月2日に成立する見通し。閣議決定された概要は，農林水産関係補正予算3，817億円のうち，水産関係予算は2，153億円。（詳細は，別紙のとおり。）

## 2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

管理漁港内及び漁場の啓開(けいかい)作業状況（担当：漁港漁場班，水産振興班）

県管理漁港の航路・泊地内の漁具や沈没した船舶・自動車等支障物の撤去作業については，塩釜漁港，桂島漁港については完了している。閉上漁港は，5月1日から着手する予定である。

また，荒浜漁港については4月25日から支障物の確認測量を行っているが，作業着手時期については水深が浅いため現在作業船舶を手配中であり，手配が完了次第着手する予定となっている。

漁港の応急復旧状況（担当：漁港漁場班）

震災後、水域の啓開作業と合わせ岸壁や臨港道路等の交通・安全確保のための応急作業を実施している。現在は磯崎漁港県道沿いと塩釜漁港越の浦地区の冠水対策のための応急作業を実施している。

また，塩釜漁港魚市場は今後船舶の入港が増えると思われるので追加のエプロン補修を4月27日から着手した。

さらに，荒浜漁港の応急作業については船揚場の補修を5月上旬から行うことで材料手配中であり，海岸堤防についても早期に着手することで準備を進めている。

なお，今回の震災で漁港施設をはじめ沿岸部の地盤が沈下しており，冠水対策のための応急作業等を実施している箇所もあるが，以前より潮位が低い場合でも冠水する恐れがあるので，冠水時の車等の運転には十分注意して欲しい。（当部HPに掲載予定）



荒浜漁港の瓦礫は自衛隊の協力により撤去された。（写真右が撤去後）

## 災害調査について（担当：漁港漁場班）

県管理漁港の被災報告は、4月15日までに完了しており、現在市町管理漁港の被災調査を5月4日までに水産漁港部が取りまとめて報告することになっている。

## 各地区の復旧に向けた動き（担当：水産振興班）

活動項目	支 所 等
1．漁場清掃作業の準備	・ほぼ全ての支所等
2．漁船保険，貯金，共済等の事務手続き	・ほぼ全ての支所等
3．陸揚げ漁船の移動及び修理（修理はこれからの所が多い）	・矢本，宮戸，塩釜第一，塩釜市浦戸，閉上
4．養殖準備作業	・鳴瀬，松島，塩釜市浦戸
5．漁場調査等	・宮戸西部，山元

宮戸西部で先週，塩釜市浦戸東部で25日にそれぞれ電気が復旧した。

仙台で5月から仮支所を仙台市の園芸センター2Fに設置準備中。

## <トピックス>

### 水産庁復興プロジェクト支援チームによる現地調査

4月19日午前9時から水産庁の支援チームが塩釜魚市場を訪れ，聞き取り調査を行った。魚市場関係者からは，「具体策を明確に示して欲しい」，「水産加工業への支援策が圧倒的に薄い」，「政府一体となった支援策必要」等の意見が出された。支援チームは午後から亘理町に行き，亘理・山元の漁業関係者から聞き取り調査を行った。関係者からは，「瓦礫除去，漁業者の生活確保，船の確保が重要」等の意見が出された。

### 宮崎県関係者とカツオー本釣り漁船の受け入れに関する情報交換

4月20日宮崎県の行政及び業界関係者が塩釜魚市場を訪問し，地元関係者とカツオー本釣り漁船の塩釜漁港への受け入れに関して情報交換が行われた。他の漁船との調整も必要となるが，県全体として対応できるように努力することを伝え，今後とも連絡を取り合っていくことになった。

### 塩釜魚市場の水揚げについて

震災後の水揚げ状況： 4月14日 17t 近海はえなわ漁船 ビンナガ10kgクラスが中心

4月18日 26t

4月22日 27t

4月25日 20t

27日，28日には近海はえなわ漁船が1隻ずつ入港する予定。

これからは，クロマグロの漁場が近海に形成され，まき網漁船が水揚げすることに期待している。